

**ツマジロクサヨトウに対しては  
以下の農薬を使用して防除を行ってください。**

### ○飼料用とうもろこし

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
カルタップ水溶剤	1000 倍	散布	収穫 21 日前まで	100～300L/10a	2回以内
アセタミプリド水溶剤	6000 倍	散布	収穫 90 日前まで	100～300L/10a	3回以内
MEP 乳剤	2000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	2回以内

### ○未成熟とうもろこし

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
エマメクチン安息香酸塩乳剤	1000 ～ 2000 倍	散布	収穫 3 日前まで	100～300L/10a	2回以内
BT 水和剤	2000 倍	散布	発生初期(但し、収 穫前日まで)	100～300L/10a	
フルベンジアミド水和剤	2000 ～ 4000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内
シペルメトリン乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3回以内

### ○とうもろこし(子実)

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
エマメクチン安息香酸塩乳剤	1000 ～ 2000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	2回以内
BT 水和剤	2000 倍	散布	発生初期(但し、収 穫前日まで)	100～300L/10a	
フルベンジアミド水和剤	2000 ～ 4000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内
シペルメトリン乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3回以内

### ○サトウキビ

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
クロラントラニプロール・ジノテ フラン水和剤	2000 倍	散布	収穫 45 日前まで	100～300L/10a	3回以内
クロラントラニプロール水和剤	5000 倍	散布	収穫 30 日前まで	100～300L/10a	3回以内
フィプロニル粒剤		植溝処理土 壤混和	植付時	4～6kg/10a	1回
		株元処理土 壤混和	培土時	6kg/10a	1回

## ○水稲

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
スピネトラム水和剤 (飼料用米に使用する場合を除く)	4000 ～ 6000 倍	散布	収穫 7 日前まで	60～150L/10a	3回以内 (播種時又は移植時1回、本田2回以内)
BT 水和剤	2000 ～ 4000 倍	散布	発生初期(但し、収穫前日まで)	60～150L/10a	
エトフェンプロックス粉剤		散布	収穫7日前まで	3～4kg/10a	3回以内
エトフェンプロックス乳剤	1000 倍	散布	収穫 14 日前まで	60～150L/10a	3回以内

## 稲(箱育苗)

農薬名	希釈倍率・量・使用方法	使用時期	回数
クロラントラニプロール粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布する。	は種時覆土前～移植当日	1回
フィプロニル粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布する。	は種時覆土前～移植当日	1回
スピノサド粒剤	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱あたり 50g・育苗箱の苗の上から均一に散布する。	移植2日前～移植当日	1回

## ○さつまいも

農薬名	希釈倍率	使用方法	使用時期	散布量	回数
スピネトラム水和剤	2500 ～ 5000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内
インドキサカルブ水和剤	2000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	2回以内
エトフェンプロックス乳剤	1000 倍	散布	収穫7日前まで	100～300L/10a	3回以内
フルベンジアミド水和剤	2000 ～ 6000 倍	散布	収穫前日まで	100～300L/10a	2回以内

上記農薬はツマジロクサヨトウに対して登録はありませんが、植物防疫法第 29 条第 1 項の規定による防除を行うために使用する農薬として、使用が可能です。

また、上記希釈倍率、使用方法、使用時期、散布量、回数を守ることで、出荷停止等、流通に支障が出ることもありません。